

収益力と競争力のある製品をつくる プロフィタブル・デザインのポイント

—製造業における固定費を再認識し、価格競争で優位性を発揮させる取り組みを解説—

- 日 時● 2016年 6月 6日(月) 10:30~16:30
- 会 場● 東京・麹町『企業研究会セミナールーム』 TEL:03-5215-3512
- 講 師● 株式会社プリベクト 代表取締役 北山 一真 氏

【経歴】IT系コンサルティング会社、製造業系コンサルティング会社ディレクターを経て、2010年にプリベクトを設立。競争力ある製品/もうかる製品の实现のため、設計と原価の融合をコンセプトにした企業変革に取り組む。業務改革の企画/実行、IT導入まで一貫通貫で企業変革の实现を支援。設計高度化、設計ナレッジマネジメント、製品開発マネジメント、原価企画、原価見積、開発購買、ライフサイクルコスト、意思決定管理会計、BOM、3D-CAD、PLMなどのコンサルティングを手がける。
【著書・執筆】『赤字製品をやめたら、もっと赤字が増えた！-儲かる製品を実現するコストマネジメント-』（日刊工業新聞社）、『プロフィタブル・デザイン iPhoneがもうかる本当の理由』（日経BP社）

◆開催にあたって

真に競争力のある製品を作り出す企業はイノベティブでもありますが、もう一つの特徴として、もうけの源泉である固定費マネジメントによる利益獲得の仕組みがあげられます。そのためには製造の現場を理解した設計の存在が欠かせませんが、部門間の疎遠化の傾向がみられる現場にとって難しい課題であり、企業は対策を講じる必要があります。

そこで本講座では、まず基本的な認識として製造業の「もうけ」の本質とその重要性を始めに、「もうけ」实现のために必要な設計改革が失敗する原因、それを改善するための正しいコンセプト、設計標準化と設計高度化による「競争力ある製品」の实现、そして固定費のマネジメントの手法について解説します。

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料● 1名(税・昼食・資料代含む)

正会員	43,200円	本体価格 40,000円
一般	47,520円	本体価格 44,000円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAXいただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- よくあるご質問(FAQ)については当会ホームページでご確認いただけます。
〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕
- お申込み後のキャンセルは原則としてお受けいたしかねますので、お申込者をご出席できない場合には、代理の方のご出席をお願い申し上げます。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。

一般社団法人企業研究会
担当：福田 E-mail: fukuda@bri.or.jp
〒102-0083
東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F
TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます。

161301-0110(※)		2016.6.6	
申込書 プロフィタブル・デザインのポイント			
会社名	フリガナ		
住所	〒		
TEL		FAX	
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			
ご氏名	フリガナ	所属 役職	
E-mail			

*お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡、および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

収益力と競争力のある製品をつくるプロフィットブル・デザインのポイント

●プログラム●

10:30

I. 製造業のもうけの本質とは

1. 製造業の「もうけ」の本質
2. 固定費マネジメントの重要性

II. もうけと競争力を両立させる真の設計改革アプローチとは

1. なぜ設計改革が失敗するのか
 - a. 設計改革の間違ったアプローチ
 - b. 設計改革が成功しない真の原因
 - c. なぜ設計標準化が失敗するのか
2. 設計改革の正しいコンセプトとは
 - a. 設計改革の3つのコンセプトとロードマップ
 - b. 設計改革の目指す情報システム

休憩

III. 「競争力ある製品」を実現する設計標準化・設計高度化の実際

1. 顧客要求の整備
 - a. 仕様管理表の整備
 - b. 「グローバルニーズを知る」の本当の意味
2. 設計基盤の整備・技術伝承の実現
 - a. 流用設計の弊害
 - b. 設計標準化・設計ナレッジの可視化・技術伝承
 - c. 設計高度化
3. デザインツールの整備
 - a. 設計自動化
 - b. ナレッジプラットフォーム

IV. 「もうかる製品」を実現する固定費マネジメントの実際

1. コストマネジメントの4要素
2. コストファクターの整備
3. コストテーブルの整備(原価見積の整備)
 - a. 原価見積が失敗する理由
 - b. 既存品の見積
 - c. 新規品の見積

16:30

※講師とご同業の方は受講をお受けしかねる場合がございます。予めご了承ください。